



サステナビリティ /SDGs研修 のご提案

sustainability Service



サステナビリティ推進支援の株式会社シエダル

<https://shedar.co.jp>

Confidential

© Shedar Co.,Ltd. All rights reserved.

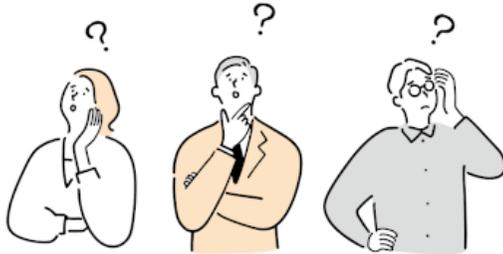
なぜ、サステナビリティ/SDGs研修が必要なのか？

知らない、恥ずかしい・・・
サステナビリティ/SDGsは、社会人にとって、一般常識です

仕事へのモチベーション、会話、行動が、劇的に変わります



サステナビリティについて、知らない・・・



取引先との会話で、こんな発言をしてしまうかも！

「脱炭素？ なぜ必要なんでしたっけ？」
「当社のサステナビリティ？ 取り組んでいるのかな？」
「ジェンダー？ 人権？ 多様性？ 分かりません」

サステナビリティについて、学ぶと・・・



「SDGsだけでなく、2050カーボンニュートラルに向けて・・・」

「当社では、ESGの活動としてこんな取り組みを行っています」

「御社を取り巻く社会課題を分析して、こんな提案を考えてきました」

	研修ラインナップ①	研修ラインナップ②	研修ラインナップ③
研修	サステナビリティ/SDGs 入門講座	カードゲームで楽しく学ぶ サステナビリティ/SDGs	社会課題を解決する 新規事業創出ワークショップ
			
目的	社会人として知っておきたい「基礎知識」を習得し、企業での事例を学ぶ	ゲーム体験を通して、サステナビリティやSDGsを「自分ごと化」し、行動変容につなげる	社会課題と各自の仕事との関連付を行い、自社の成長に向けた「新規事業創出」を行う
形式	対面/オンライン	対面	対面
時間	60分～	3.5時間～	終日（5～7時間）
価格	10万円（税別）～	30万円（税別）～	45万円（税別）～
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員向け ・中堅社員向け ・役員向け 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員向け ・中堅社員向け ・役員向け 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員向け ・中堅社員向け ・役員向け

研修ラインナップ①②③について、次ページ以降で詳しく説明します

研修ラインナップ①： サステナビリティ/SDGs入門講座（60分～）

NO	項目	内容
1	サステナビリティの基本	<ol style="list-style-type: none"> 1) サステナビリティの定義 2) ESG(環境・社会・ガバナンス) の重要性 3) CSRとCSVの違い 4) SDGs (持続可能な開発目標) 17ゴールと169ターゲット
2	「世界のトレンド」と「日本の現状」	<ol style="list-style-type: none"> 1) サステナビリティが叫ばれる3つの背景 2) グローバルでのサステナビリティのトレンド 3) 日本のサステナビリティの現在地 (順位、データ) 4) 企業の「リスク管理」と「企業価値向上」の2つの側面
3	企業がサステナビリティに取り組む5つの意義とは？	<ol style="list-style-type: none"> 1) 消費者に選ばれる (ブランディング) 2) 企業間取引で選ばれる (サプライチェーン) 3) 学生から選ばれる (Z世代・ミレニウム世代) 4) 社員に選ばれる (従業員エンゲージメント) 5) 投資家、金融機関に選ばれる (ESG投資)
4	業界別！ 企業のサステナビリティの取り組み事例	<ol style="list-style-type: none"> 1) 製造：トヨタ様の事例 2) IT：セールスフォース様の事例 3) 飲料メーカー：サントリー様の事例 4) 小売り・金融：丸井グループの事例 5) スポーツ用品：アシックスの事例 他
5	情報開示とステークホルダーとのコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1) なぜ、企業に、情報開示が求められるのか？ 2) さまざまな情報開示フレームワーク (GRI,TCFD,SASB他) 3) 統合報告書とサステナビリティレポート 4) Webでの情報開示の重要性
6	これだけは「正しく」理解しておきたいサステナビリティ用語10のキーワード	<p>サステナビリティ関連の用語を、クイズ形式で学ぶ</p> <p>①カーボンニュートラル②グリーンウォッシング③ライフサイクルアセスメント④サーキュラーエコノミー⑤フェアトレード⑥スコープ1,2,3 ⑦DEI⑧人的資本⑨サステナビリティレポート⑩自然資本 他</p>

*ご要望に応じて、カスタマイズいたします

研修ラインナップ②： カードゲームで学ぶサステナビリティ/SDGs

社員ひとりひとりに「サステナビリティって、自分ごと」「**自分の仕事と直結**している」ということを理解・実感していただくための研修です。

NO	項目	内容	時間配分
1	イントロダクション	本研修の目的・全体像の説明・自己紹介	10分
2	カードゲーム 「地方創生カードゲーム」	参加者全員が地域企業となって、社会課題を解決しながら、地域を成長させるカードゲーム 1) ルール説明 2) ゲーム	90分
休憩			10分
3	座学 サステナビリティ基礎講座	1) ゲームの振り返りとサステナビリティの本質 2) サステナビリティが重視される4つの背景 3) 企業が取り組む5つの意義・メリットとは 4) 他社事例、業界事例の紹介	80分 (カスタマイズ)
4	ワークショップ	自社のサステナビリティへの取り組みを考える (自社のサステナビリティ方針の説明など)	
5	まとめ	全体のまとめ 自社のサステナビリティ方針の説明	20分
合計			3.5時間

*ご要望に応じて、カスタマイズいたします

研修ラインナップ③： 社会課題を解決する新規事業創出ワークショップ

社会課題と各自の仕事との関連付を行い、自社の成長に向けた「新規事業創出」を行います。

前半はカードゲームを行い、たくさんの新規事業を作り出す体験を行っていただきます。

後半は、ワークショップ形式で、自社での新規事業を考えます。

社会課題を解決する新規事業を創出することによって、CSV（共創価値の創造）について学びます。

NO	項目	内容	時間配分
1	イントロダクション	本研修の目的・全体像の説明・自己紹介	30分
2	新規事業創出カードゲーム	参加者全員が地域企業となって、社会課題を解決しながら、地域を成長させるカードゲーム 1) ルール説明 2) ゲーム	120分
休憩			10分
3	新規事業アイデア創出ワークショップ	内部からではなく、外部の視点を取り入れたアプローチで創出するで新規事業についての説明 1) 社会課題の洗い出し 2) 自社のリソース・知見の洗い出し 3) 新規事業創出に向けたディスカッション 4) 発表・講評	120分 (カスタマイズ)
4	まとめ	全体のまとめ	20分
合計			5時間

*ご要望に応じて、カスタマイズいたします

シェダルの研修が、選ばれる理由

選ばれる理由（1）体験型・対話型の研修です

カードゲームやワークショップを取り入れた、体験型の研修が得意です。

座学中心の受け身の研修ではなく、**自ら考え、行動することによって、「サステナビリティ」を「自分ごと化」**していただきます。

体験型・参加型の研修のメリット

1) 楽しみながら、学習の促進

ゲーム感覚で、楽しみながら研修に参加できます。参加者の主体的かつ積極的な学習を促進します。

2) 参加者間のコミュニケーション・チームビルディング

ゲームやワークショップは、参加者同士の対話や協働によって成立します。チームビルディングの要素がたっぷり入った研修になっています。

3) 事例学習

カードゲームに登場する事例は、現実社会にあるものばかりです。カードを読むだけで、サステナビリティに関する事例を知ることにつながります。

4) 記憶の定着

ゲームの振り返りやワークショップでの発言を通して、能動的な参加シーンが多くなります。アウトプットを伴う学習のため、記憶が定着します。

【ポイント】

カードゲームの後に、座学を組み合わせることもできます。ゲームによる体験学習と、座学による知識習得によって、より理解度を高めることが可能となります。



	前年	後年	
A. エネルギー	20億	16億	① 4
B. 化学×カ	20億	11億	② 2
C. 物流	7億	11億	② 2
D. 商社	5億	2億	④ 2
E. 金融	6億	4億	④ 4
F. IT×IT	12億	15億	⑤ 5

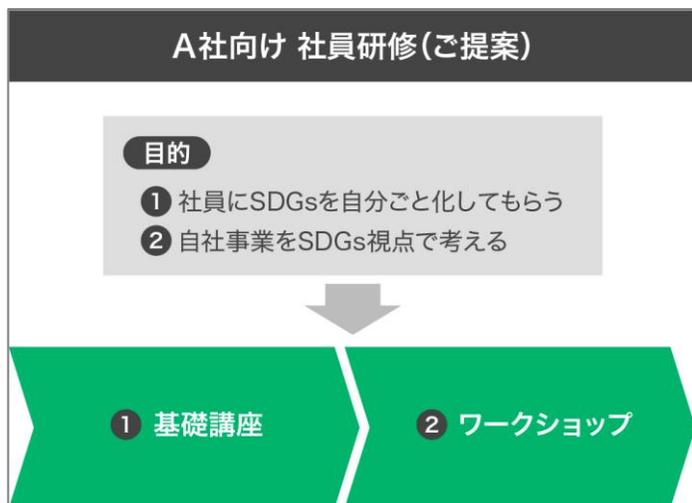
選ばれる理由（２） 貴社向けのカスタマイズ研修をご提案します

貴社の研修目的、受講者の方のレベル感に合わせて、
1社1社、オリジナルのカリキュラムをご提案いたします。

シェダルでは、**企業の課題、研修の目的、受講者のレベル感を事前にヒアリングして、企業ごとにオリジナルのカリキュラムを提案**いたします。

研修で使うテキストも、企業ごとに、業界の事例を多く盛り込むなどしてオリジナルテキストを作ります。

半日研修の例



2日間研修の例

基礎編

- 1:サステナビリティ基礎
- 2:地方創生カードゲーム
- 3:ESGとは
- 4:サステナビリティの本質
- 5:5つの背景
- 6:企業が取り組む意義とは
- 7:ワークショップ

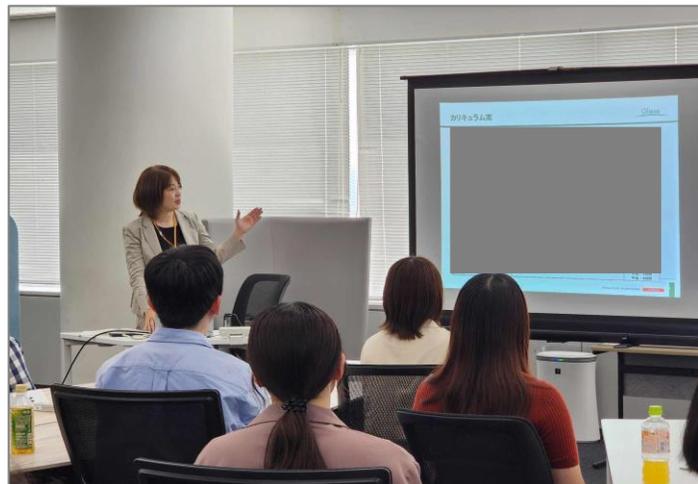
実践編

- 1:企業にとってのサステナビリティとは
- 2:CSV（共創価値の創造）
- 3:アウトサイドイン
- 4:新規事業アイデア創出
- 5:ビジネスモデル
- 6:発表

全社員向けの年間プランや、新入社員研修の実績も多数ございます。
ご相談ください。

選ばれる理由（3） 研修経験が豊富な講師が、担当します

さまざまな企業に向けて、数多くの研修を行ってきました。



「デジタルハリウッド」の講師や「宣伝会議」の講師を、長年にわたって務めるなど経験豊富な講師が直接指導いたします。

サステナビリティに関する資格・認定も豊富です。

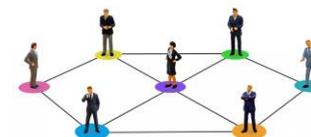
- ・英国CMI認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー
- ・SDGsビジネスストラテジスト（一般社団法人SDGs支援機構認定）
- ・「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター
- ・「新規事業創出アウトサイドイン」公認ファシリテーター
- ・“Get The Point” 公認ファシリテーター
- ・THE SDGs Action cardgame X（クロス）公認ファシリテーター



実績も多数



* 専門家のネットワークも豊富です



- 研修のなかで、カードゲームがいちばん印象に残りました。どうすれば、自分たちの地域が、より良い状態になるのか考えることで、**社会でのサステナビリティ活動についても想像**することが出来ました。
- **正直、サステナビリティの研修は退屈そうだ**と思っていたのですが、ゲームとワークショップが楽しくて、終わってみたら、サステナビリティがとても身近に感じられるようになりました。
- 講座の中で「例えば、貧困という日本にはあまり関係ないように思いがち」といったお話があったように、**“SDGs=スケールが大きくてどこか遠い話”**と感じていた部分がありましたが、今日の講座を通して、サステナビリティや、SDGsが、生活に密接に関係するものだと知ることができました。
- **「いまやっていることが、未来につながる、サステナブルな社会につながるんだよ」**という考え方がいいなあと思いました。ワークショップを行って、**いろいろな人の考え方を知り、視野が広がった**気がします。
- 具体例を交えて、とてもわかりやすく大事な理由とメリットを整理した状態で説明いただき、理解度が深まりました。また、**企業で推進する必要性**をひしひしとさらに強く感じました。やらされるのではなく、自主的に一人一人が取り組めるように、社内で啓蒙活動をしていくことが必要だと感じました。
- **「今すぐ情報発信しないと」**と思いました。とても有意義でした。
- 社員一丸となつての取り組みが必要ということで、**「やらされ感」をいかに無くしていくかが重要**だと思います。
- **身近な企業の取り組み事例**を具体的に見せてもらった事で、「じゃあ、**自社はどうなのか？**」と自分に引き寄せて考えられるようになりました。
- ゲームを通して、サステナビリティや企業活動に関する取り組みのイメージをすることができました。経済、環境、人のバランスを取りながら、社会をよくする仕事をしていきたいと考えました。
- 自分たちの仕事は、目の前の利益のためではなく、**社会課題の解決につながっている**のだとわかりました。



まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせをいただきましたら、まずは対面・Web会議などで、お打ち合わせをお願いしております。

そのときに「**研修を行う目的**」「**現状の課題やお悩み**」「**受講対象の社員**」「**どんなゴールを描いているか**」などをお聞かせいただきます。

いただいた情報を元に、最適なカリキュラムをご提案いたします。

お問い合わせ

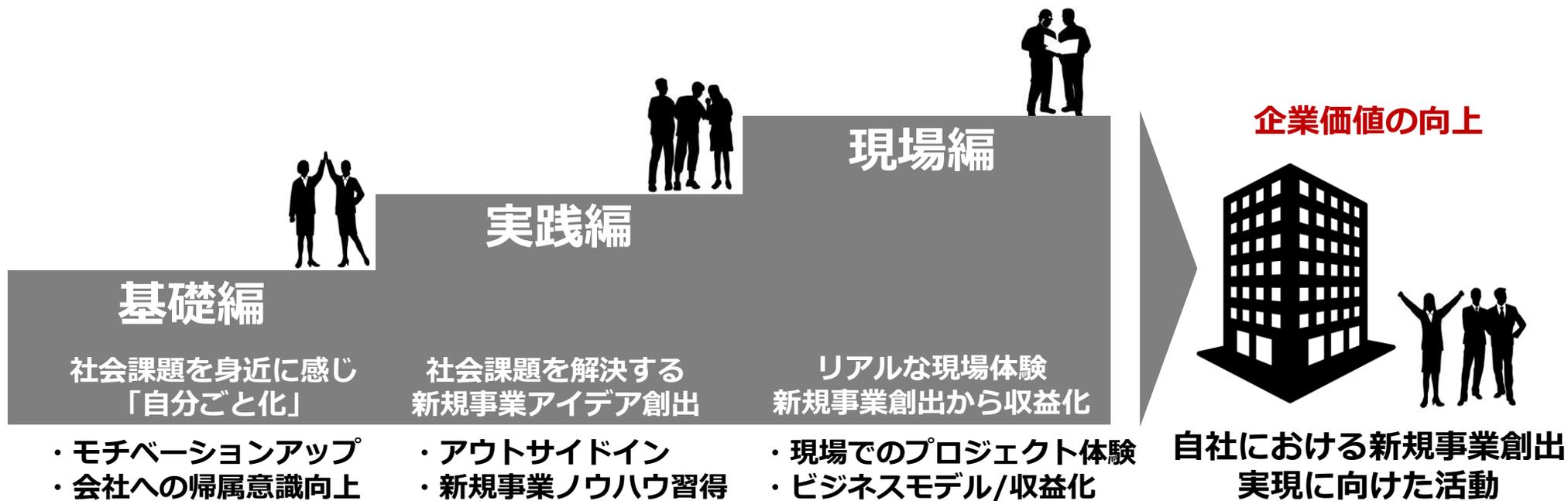
<https://shedar.co.jp/contact/>

シエダルが考える、社員研修・社内浸透のあるべき姿

社員研修は、最初の1歩。

シエダルでは、社員研修を通して、事業に具体的なメリットをもたらし、新規事業の立ち上げ、売上アップ、**企業価値向上を実現することが重要**であると考えています。

シエダルは、継続的な社員研修（基礎編、実践編、現場編）を提供し、貴社のサステナビリティ推進を社内に浸透させるとともに、企業の持続的な成長をサポートします。



グループ会社含む約700名を対象にサステナビリティ研修を開催 社内浸透を進ませ、新規事業創出への第一歩を踏み出す！ ～株式会社ユニリタ様～



2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【基礎編】 基礎と事例						体験		1	2 3	4	5 6	7 大阪 8 9
【実践編】 新規事業アイデア／CSV												1 役員

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【基礎編】 基礎と事例	10 新入社員	11		12			13			14		
【実践編】 新規事業アイデア／CSV		2	3	4	5		6 大阪	7		8	9	

【BEFORE : 課題・背景】

- ・社会課題解決に向けた事業を展開しているが、一部の社員しか「自分ごと」と感じていない
- ・サステナビリティの重要性を社内に浸透させ、CSV経営（事業を通じて社会課題を解決する経営）を実現しなければ、企業として持続的な成長は見込めないという危機感がある
- ・サステナビリティに関して、インプットだけではなくアウトプットもセットになった研修を探していた

【AFTER : 実施内容・導入の効果】

- ・サステナビリティ研修の基礎編と実践編を行い、社内浸透が促進された
- ・研修参加者は、自社の事業とサステナビリティを関連付けて考えられるようになった
- ・社会課題を起点とした発想（アウトサイドイン）や、バックキャストの考え方が理解できた
- ・グループ会社全てのリソースを組み合わせ、新規事業のアイデアを生み出す土台ができた

詳しくはこちら（事例ページ）

<https://shedar.co.jp/jirei-unirita/>

会社名	株式会社シェダル
英文社名	Shedar Co.,Ltd.
設立日	2024年10月11日
代表取締役	福田多美子
取締役	江島民子
所在地	〒186-0002 東京都国立市東1-15-11 448ビル3F
事業内容	サステナビリティ推進支援事業 ・コンサルティング ・社員研修 ・情報開示支援 ・社内浸透支援
理念	自ら輝き、社会を輝かせる
ビジョン	知らないを知るに変えることで、人々の行動を変え、社会を変える
資本金	5,000,000円
取引銀行	三井住友銀行、多摩信用金庫、GMOあおぞらネット銀行
HP	株式会社シェダル https://shedar.co.jp/
グループ会社	株式会社グリーゼ https://gliese.co.jp/

▼お問合せフォームは、こちら

<https://shedar.co.jp/contact/>



新入社員研修、中堅社員研修、役員研修
を実施したい

社員の意識改革を行いたい



社内浸透の仕組みも、作っていきたい！

